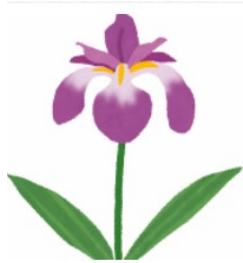


学校だより

5月号

重点目標 みんなでいっぱい

みんなで いっぱい 踏み出そう



新緑が、美しい季節となりました。

子どもたちも、新しい学年やクラスになじみつつあり、学習では新しい教科書やノートを開き、張り切っています。

先日は児童会行事である「こんにちは1年生」が行われ、体育館に全校児童が集まりました。1年生は6年生と手をつなぎ、2年生から5年生の拍手の中、体育館に入場してきました。多くの上級生に驚いたような、そして少し恥ずかしそうな表情をしていました。「困ったことがあったら何でも聞いてね」という、他学年が1年生に伝えた優しい言葉を聞き、嬉しかったです。全員で声をそろえて校歌を歌った時、874名一人一人が、中央林間小学校の大切な一員であると強く感じました。

さて、今年度の重点目標「みんなでいっぱい」ですが、朝、あいさつ運動をしている運営委員会の5、6年生の皆さんに次の内容でインタビューをしました。

「みんなでいっぱい踏み出す時って、どのような時が考えられるだろう」

「みんなでいっぱい踏み出すと、どんな楽しいことやいいことがあるだろう」

○運動会の時、学年全員で協力して素敵な演技をしたい。勝ち負けがないところも良いと思う。

○お互いにあいさつができるようになると、良いことがあると思う。どのクラスや学年の子とも知り合いになれる。

○みんなが、時間を守って生活する。やる時はやる。遊ぶときは思い切り遊ぶ。さそい合って外に出て、みんなで遊ぶと楽しいのではないかな。

○休み時間や昼休みに、みんなで遊ぶ時間を計画してはどうか。

○みんなが言いたいことが言える雰囲気になりたい。必要以上に遠慮してしまうことがあるので、伝えたいことをしっかり伝えられるととっても良い雰囲気になるのではないかな。

○全校で、あいさつしようとか、みんなで遊ぼうとか、目標を決めるのがよいのではないかな。

5、6年生は、みんなで取り組んで「良かったな」と感じた経験があるので答えることができた



こんにちは1年生 6年生代表のこたば

のでしょうか。「みんなで」いっぱい踏み出すためには、一人で頑張るのとは異なる別の意識が働くので難しさもあるかもしれませんが、しかし、一人では味わうことのできない喜びもあるはずです。学校は、子どもたちが他者と共に学び「みんなでいっぱい」踏み出し前進する心地よさを味わうことができる教育活動の創造に努めてまいります。

(校長)